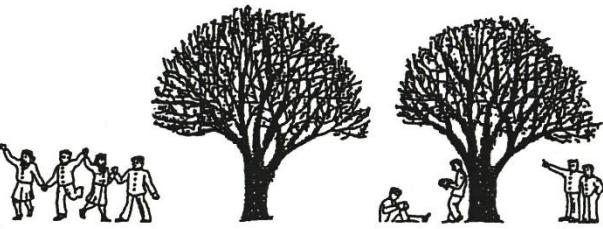


2本のケヤキ

第162号 (令和7年9月1日)



ぐんまインクルーシブフェスタ2025

8月4日(月)にイオンモール太田で「ぐんまインクルーシブフェスタ2025」が開催され、本校は、作業製品販売・ステージ発表・トークセッションに参加しました。

作業製品販売では、木工班、被服班、陶芸班、コンクリート班で作った製品を販売しました。販売担当生徒は丁寧な言葉づかいで丁寧な接客をし、当日用意した製品はほぼ完売となりました。



ステージ発表では、本校生徒(3学年希望者)と大泉高校生徒(希望者)、総勢約30名による「こうようソーラン」のコラボレーションパフォーマンスを披露しました。大泉高校生徒は、本校の伝統である「こうようソーラン」の動画を繰り返し見ながら練習を重ねて、本番を迎きました。同じ衣装(はっぴ)を身にまとい、両校の一体感が伝わってくるステージでした。



トークセッションでは、聾学校・伊高特・太高特・渡良瀬・桐生清桜高校・大泉高校の6校の代表生徒が「ダイバーシティ」「インクルーシブ社会」「違いの尊重」「意見の尊重」「安心して過ごせる場所」など、様々なテーマについて意見を述べました。本校から参加した生徒会長の江口結登さんは、司会からの質問に堂々を回答し、とても立派でした。生徒の皆さんからは「現在、インクルーシブな社会は実現されていない。」という意見が複数出されました。



生徒たちの率直な意見を聞き、今回のようなイベントや学校行事、交流及び共同学習、情報発信等を通して、

小さなことからコツコツと意識改革していくことが学校の役割であると痛感しました。

※ダイバーシティとは、「多様性」という意味です。多様性とは、性別、年齢、人種、国籍、宗教、性的指向、障がいの有無、価値観、働き方など、さまざまな違いを持った人々が共存している状態を指します。

※インクルーシブ社会とは、年齢、性別、国籍、障がいの有無、性的指向などに関係なく、すべての人々が尊重され、社会の一員として排除されることなく、共に支え合いながら生活できる社会のことです。

ファイトカップ2025

8月3日(日)に前橋総合運動公園で「ファイトカップ2025」が開催されました。本校サッカー部を含む県内の5チームが参加しトーナメントで優勝を争いました。今年は猛烈な暑さのため長い給水タイムを設け、1試合20分で行われました。サッカー部員たちは、暑さに負けず仲間同士で声を掛け合い、必死にボールを追いかけ、他のチームの人たちと交流を深めました。本校はベストチームマーク賞を受賞し、バニーズ群馬FC ホワイトスターの選手のサイン入りボールをいただきました。



PTA支部集会(ボウリング大会)

7月26日(土)、8月2日(土)にドリームスタジアム太田で「PTA支部集会(ボウリング大会)」が行われました。ストライクやスペアが出るとハイタッチをして喜んだり、親子でスコアの勝負をしたりと、生徒たちにとって夏休みのよい思い出のひとつになったようです。

